

2003 年度 委員会活動成果報告

(16 年 3 月 30 日作成)

委員会名	JASS 24 断熱工事改定小委員会	主 査 名：長谷川 寿夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	15 年 4 月 ~ 18 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在の JASS24(断熱工事)は、1995 年 2 月に改定されたものであり、その後の技術の進展、基準法の改正(特に防火関係)、関連 JIS 等の改正に伴い、全般的な改定を行う時期となっている。 平成 15 年度は、改定方針と改定すべき項目・内容について重点的に審議する。	
委員構成 (委員名(所属))	長谷川寿夫(北海道大学)、鎌田紀彦(室蘭工業大学)、 鈴木大隆(北海道立北方建築総合研究所)、有江暢亮(鹿島建設(株)札幌支店)、 佐藤民佳(株)宮川建設)、大関 一(日新工業(株))	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回小委員会 (平成 15 年 5 月 1 日・委員 3 名参加) 第 2 回小委員会 (平成 15 年 9 月 1 日・委員 5 名参加) 第 3 回小委員会 (平成 15 年 11 月 12 日・委員 5 名参加) 第 4 回小委員会 (平成 16 年 1 月 22 日・委員 4 名参加)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 今年度は、断熱工事標準仕様書改定のための 3 年間の活動の初年度であるため、最初に改定の方針と項目について審議し、その後はその具体的内容について資料収集を中心に行った。主な内容は、以下のとおりである。 ・建物の断熱計画や断熱性能とも関連した記述としたい。 ・鉄骨造断熱工事仕様の大幅な改定を重点的に取り組む。 ・屋上断熱防水の最新技術の対応を図る。 ・断熱材の新 JIS への対応、および長期性能値に対する見直し。 ・基準法改正に伴う見直し、特に防火関係を行う。 なお、資料収集としては、断熱工事に関係したこれまでの不具合事例等を収集しており、検討結果を改定内容の盛り込む予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 前記のように、初年度の活動計画で予定した内容について小委員会で審議と調査を行い、来年度以降の改定執筆に関する有用な方針と関連資料をほぼ収集できた。
その他評価すべき事項	初年度の活動計画で予定した内容について小委員会で重点的な審議と調査を行うことができたので、来年度以降の改定執筆に関する有用な方針と現状の技術的資料・改定点についてほぼ整理することができた。